

大垣女子短期大学 アクションプラン2013

新しい大垣女子短期大学へ

本学は、大垣のこの地に誕生して44年の星霜を重ねている教育・保育、芸術、保健・医療の分野の学科からなる総合女子短期大学です。さまざまな分野で混迷が続いている現代社会においては、今や高等教育を含めた教育改革は国家の存亡に関わるほど喫緊のものとなっています。これまで本学は、明確な建学の精神を基盤として「自律的な精神を持ち、感性と知性を兼ね備えた女性の教育」を教育理念に掲げて、社会に貢献できる人材の養成を行ってまいりました。

そして、地域の皆さまからの多大なご援助を得て平成25年度からの看護学科新設をはじめとして、本学教育の充実と社会的役割を確実に果たすことを目指し、さまざまな教育改革に取り組んでいこうとしております。改革を進めていくリーダーとして、5学科体制になったこの機会に、本学の教育方針と教育改革の取組について、これをアクションプランとして内外に提示することにいたしました。

理事長・学長 中野 哲



I. 基本ビジョン

1. これから新しい社会に貢献できる、より高度で多様な知識と技能を有する女性を育成します。
2. 総合短期大学としての性格をいっそう強め、これを生かした特色ある教育を推進します。
3. 地域との結びつきをいっそう深め、確実な連携と貢献ができる短期大学づくりを進めます。

大垣女子短期大学は、これから新しい社会を見据えて新たなビジョンをかけ、これまで行ってきた教育や研究とその基盤となる教育理念をより発展、深化させます。そこから、今後の社会においてより高度で多様な知識や技能と豊かな人間性を身につけた女性の育成をめざしていきます。そしてそのため、幼児教育科、音楽総合科、デザイン美術科、歯科衛生科と新設した看護学科をあわせた5学科を有する総合短期大学として、学科の特性を生かしながら互いに連携して特色ある教育を推進します。さらに地域における知的拠点として連携と貢献をめざす活動はもとより、地域をはじめとして社会全体に貢献する女性の育成をめざしていきます。



II. ビジョンを実現するために

1. 個性を重視し学生を大切に育てていきます

(1) ひとり一人の進路に対応する支援や指導

- ① 専門職を目指す学生に対し、教職員がそれぞれの専門性を高めて、適切な支援や指導を行う。
- ② 多様な希望進路に対応できるようにするために、職業や求められる能力などの情報提供を行う。
- ③ チューター制度による個別指導や教育懇談会などを活用して、進路選択などのサポートを行う。
- ④ キャリアサポートセンターや国際交流センターを活用して、スキルアップや国際化への支援を行う。
- ⑤ 社会人になるために求められる基礎的な能力をつけていく授業や講座を、できるだけ多く開講する。



(2) 人間関係を大切にするための制度づくりと支援・指導

- ① コミュニケーション能力育成の重要性を認識し、学生間、学生と教職員の人間関係づくりに努める。
- ② 学生が楽しんで学びに取り組めるよう、授業や行事等を介して主体的、積極的な人間関係の構築を図る。
- ③ 学生相談室やピアヘルパーを活用して、カウンセリングやアドバイス、相談活動などを行う。
- ④ 少人数クラスのチューター制度を活用して、保護者とも連携しながら人間関係の不安をなくしていく。
- ⑤ 社会人に求められる他者との望ましい関わり方についても、あらゆる場面を通して支援や指導を行う。



(3) 学生生活を支える体制づくり

- ① チューター制度やオフィスアワーなどを介して、個別面談などによって安定した学生生活を支援する。
- ② チャーミングキャンパスで5学科の学生の交流を促進し、学ぶ楽しさを体験できる環境の充実を図る。
- ③ 学内各種奨学金制度の充実を図るとともに学外の奨学金制度の情報提供を行い、経済的安定をめざす。
- ④ 調査やモニター活動などによって、心身の健康管理を含め学生の生活状況と改善要望の把握に努める。
- ⑤ 課外活動としての文化・体育クラブへの参加を促進し、心身を鍛え、豊かにするように支援する。

2. 教育と学びの質を高めていきます

(1) 明確な目標をもつ体系的な教育課程と授業づくり

- ① 建学の精神から授業までの体系的な教育課程のながれを、カリキュラムマップ・ツリーで可視化する。
- ② 到達目標を明示する教育方法と学習評価の改善で、学生が主体的に取り組める授業づくりを進める。
- ③ 学生が身につけるスキルや到達目標を理解して学修成果を把握できるように支援や指導を行う。
- ④ アクティブラーニングのための授業づくりに努め、主体的に学ぶ力の育成を見すえた指導と支援を行う。
- ⑤ 体験的な学習を中心に教育方法の改善を図り、授業科目相互の連携も促進して学びの質の向上を図る。



(2) 教養と専門性を高めていく教育

- ① 入学前教育と初年次教育の充実を図り、教養科目や専門科目の学修に取り組めるよう支援していく。
- ② 教養科目を人文・社会・自然・総合・社会人基礎に分類し、総合的な履修によって幅広い教養を涵養する。
- ③ 社会を支える現代女性にふさわしい、女性の感性や特性などを重視した女性教育を重視していく。
- ④ 教養教育を基盤として、確実な専門教育、さらにキャリア教育を加え、将来に必ず生かせる学びにする。
- ⑤ 学科ごとに専修クラスやコースなどを設定して、専攻に応じて専門性を発展させられるようにする。



(3) はば広い学科構成と少人数クラスなどの特長をいかした教育

- ① 総合短期大学である特性をいかし、他学科の内容を取り入れた特色ある授業科目の設定と充実を図る。
- ② 教養科目で、5学科学生合同の基礎教養ゼミを全ての教員が行い、はば広い学びの基礎づくりを行う。
- ③ 子育てサロンやこども祭などに積極的に参画し学びの成果から次の目標が持てるよう機会を設定する。
- ④ 授業や研修等を活用し、実社会の活動と大学での学びを往還させて、実践力を身につける教育を行う。
- ⑤ 教育の中で、学生が各自の考えや個性を生かしながら、集団で体験し感動を共有する場を設定する。

3. 社会になれる力をつけていきます

(1) 社会の動向を見すえた教育

- ① 社会活動演習などの授業を活用して、社会におけるさまざまな課題や問題を解決する力を醸成する。
- ② ラーニングコモンズでの学生同士の交流など、社会の動向に关心がもてる教育環境づくりを進める。
- ③ 卒業生を含め社会で活躍している人材の協力を得て、実社会の状況や課題について学ぶ機会を設ける。
- ④ キャリアセミナーなどの授業を活用して、現在の就業に関連する社会動向についての理解促進を図る。
- ⑤ 教養講座を開講することなどによって、卒業後に社会人として求められる一般教養の確実な涵養を図る。



(2) 職業と結びついた指導と支援

- ① 就職支援講座、就職試験対策講座、公務員試験対策講座など、就職と直接結びついた指導や支援を行う。
- ② チューター・キャリアサポートー・学生支援課が緊密に連携して、就職に向けた効果的なサポートを行う。
- ③ 自分自身を見極める体験や職業に対する意識調査など、自己の資質や適性を把握できる機会を設ける。
- ④ 実習やインターンシップなどを介し、現場の実情や課題などを経験的に実感できる機会を設ける。
- ⑤ キャリアサポートーや外部講師を活用して、職業に関する望ましい意識やマナーなどを醸成する。



(3) 社会人の基礎となる力の育成

- ① 社会人に求められる基礎的な力につけるための内容を明示し、目標と手立てを明らかにする。
- ② 教養教育や専門教育を基盤にキャリア教育を行い、知識技能、表現力、社会性等一般教養の育成を図る。
- ③ キャリアセミナーの授業で、社会人に求められている知識や技能、一般常識等の習得を図る。
- ④ 大垣市などの自治体や企業と連携し、域学・産学連携を促進し、オープンキャンパスでの学びを重視する。
- ⑤ 徳育を重視し、教育課程や課外活動での体験等から人としての正しい生き方を考えられるよう指導する。

4. 地域とのつながりを深めていきます

(1) 教育資源を活用した連携と貢献

- ① 多様な教育資源を学科等の特性に応じて地域振興に役立つように活用し、情報公開と発信に努める。
- ② 子育てサロンや実習等の授業・研修・関連行事に多く参加させ、地域に連携・貢献できる力をつける。
- ③ 各種行事への地域住民の参画を積極的に図り、住民と学生との協働的なあり方を学ぶようにする。
- ④ 文科省が推進するCOC事業に取り組み、地域と連携して地域社会の再生や活性化に資するよう努める。
- ⑤ 教員や時には学生も一体となって、講座、研究会、シンポジウムなどを実施する。

(2) 地域と結びついた研究と教育の推進

- ① 大垣市との包括的協定にもとづく共同研究の推進など、地域課題解決に向けた知の拠点づくりに努める。
- ② 地域の振興や課題解決に結びついた研究を積極的に推進し、成果を還元していくように努める。
- ③ 地域の企業や自治体との連携を深め、教職員や学生による提案や共同開発などの連携と貢献を実施する。
- ④ 教育についても、大学祭などの行事等で成果や自治体や住民の調査をもとに改善を進める。
- ⑤ 地域自治体における公的な役職を積極的に果たし、教育機関としての責任を果たす。



(3) 地域連携・地域貢献のための各学科教育方針

- ① 幼児教育科：地域における子育てステークホルダーを支援するために、地域の課題を解決し、幼児教育の専門性を活かして学生と教員と地域が協働する。
- ② デザイン美術科：人生における芸術のもつ意味を理解した上で、自己表現としての芸術作品を発表し社会に貢献する。
- ③ 音楽総合科：内憂外患の状況である現代社会においての音楽の重要性をさまざまなツールを用いて理解を深めるようにする。
- ④ 歯科衛生科：口腔疾患の健康に対する重要性を地球社会に周知徹底させる努力をする。
- ⑤ 看護学科：何にも代えがたい人の健康維持について、さまざまな機会をとらえ支援を実践していく。

このアクションプランは

大垣女子短期大学のすべての教職員が平成25(2013)年度から27(2015)年度までの3年間で、ビジョン実現に向けて努力している目標と手だての内容です。毎年度ごとに達成度を検討するとともに、地域等の意見も聞きながら目標達成に向けた手だてについて見直しを図っていくこととしています。これによって社会から真に期待され求められている短期高等教育にふさわしい教育や研究を行っていきたいと考えています。